

＜ 今日の説教のポイント ルカによる福音書 22 章 35～38 節 ＞

1 (35-36) イエスが前に言われたことと矛盾する？

以前、イエスが弟子たちを派遣された時に「財布も袋も持って行くな」と言われ、弟子たちがそれでやれた出来事がありました(9:3, 10:4)。イエスは今回その話をしながら「持って行け、剣も」と言われています。この後イエスが捕らえられる状況に入って行きますので、「前に言われた仕方ではだめな状況があるのか」と考えたりするかもしれませんが。イエスが言われたことを理解し間違えると、訳が分からなくなります。弟子たちもそうであったことが、この後を読むと分かります。まずそこを読んでおきます。

2 (37-39) この後のイエスの行動から真意が分かる。

イエスはイザヤ書 53 章 12 節を引用して自分が捕まることを予告され、これを聞いて弟子たちもその意味を理解したつもりでしたが、それは大きな誤解でした。弟子たちが剣が二振りあると言ったのに対して、イエスは「それでよい」と答えられました。しかし、これは武器を取って戦うことを肯定されたものではありません。それはこの後、「やめなさい。もうそれでよい」(51)と言われて、剣で傷ついた人を癒されたことから分かります。では、今日の個所から聞き取るべきことは一体何なのでしょうか？

3 今の困難な世界状況の中で、信仰者は永遠から今を見る！

イエスはもうすぐ自分がいなくなることを言われたかったのでしょうか。弟子たちが何も持たずに出かけて大丈夫だった時、彼らは離れていてもイエス様はおられると信じていました。今度はそうではないのです。しかし、これを読む私たちはよく考えなければなりません。①イエス様がおられない時 → ②イエス様と一緒に歩んだ時 → ③イエス様がおられなくなる時 → そして、④イエス様が復活されていつも私たちと共にいて下さる時。この経過の中で、この時の弟子たちは②から③の中にいるのであり、その後、④の中を生きる者となったことを。私たちも、今、④の中を歩んでいるのです。私たちがこの個所を読んで思うべきはこのことなのです！ 今も「闇が力を振るっている」(53)時代です。しかし、「あなたがたは世では苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。私は既に世に勝っている」(ヨハネ 16:33)のです。